

令和5年9月
第5回清水町議会定例会一般質問事項

質 議	問 席	者 氏	質 問	事 項
4		川 上 均	<p>1 職員の初任給算定問題における裁判の経過と訴訟費用を問う</p> <p>令和元年7月に端を発した職員の初任給算定問題は、結果的に令和4年9月に職員側から町が訴えられ、それを町側が応訴するという町と職員間の信頼関係を揺るがす前代未聞の事態に発展した。そこで裁判から約1年が経過していることから、現時点での経過と訴訟に係る町側が負担した費用について町長に伺う。</p> <p>2 令和6年度の町民への物価高騰対策を問う</p> <p>引き続き物価高や原材料費の高騰が、非課税世帯やひとり親世帯限らず一般家庭にも多大な影響を及ぼしている。今後もこの状況が秋冬から来年度以降も続くと言われている中で、町として今後はさらに町民生活を守るために多様な施策が求められるが、令和6年度当初予算にどう盛り込む予定なのか、町長の考えを伺う。</p> <p>3 会計年度任用職員の勤勉手当支給及び常勤職員に準じた給与改定の実施について問う</p> <p>会計年度任用職員に勤勉手当の支給を可能とする地方自治法改正法案が、4月26日の参議院本会議で可決した。これに伴い、町として令和6年度からの支給実施と、併せて総務省通知に基づき常勤職員の給与改定に準じた会計年度任用職員の給与改定の完全実施に向けて町長の考えを伺う。</p>	

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
9	佐 藤 幸 一	<p>1 運転免許証自主返納者タクシー無料乗車券の弾力的な運用を</p> <p>高齢等の理由で運転免許証を自主返納し、タクシー無料乗車券の交付を受けたが、本人が同乗しなければ配偶者だけの買い物や通院には使用することができないという。</p> <p>この際、配偶者だけでも使用できるよう弾力運用を図る考えはないか伺う。</p> <p>2 地域気象観測システム (アメダス) の町内への設置要請について</p> <p>最近の異常気象により、いつ集中豪雨や台風、あるいは大雪の災害が発生するかわからない状況である。</p> <p>これら気象災害を防止、軽減するために局地的な大気現象を監視するアメダスは大きな役割を果たしている。</p> <p>本町にもアメダスの設置を気象庁等関係機関に要請していく必要があると思うが町長の考えを伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏	名	質 問 事 項
6	鈴木孝寿	<p>1 軽自動車等の課税免除について</p> <p>本町の自動車関連産業は、廃業等が続き修理や車検といった町民の生活にも不便が生まれ、また町内各事業所においても、今後益々大幅な時間のロスとともに経費の拡大が考えられる。既存事業者が町内において安心して事業継続できるように、他の自治体にもある軽自動車等の課税免除制度創設について、また、自動車関連産業への今後の町の考えを伺う。</p> <p>(1) 販売目的の軽自動車等の課税免除について (2) 代車に用いる軽自動車等への課税免除について</p> <p>2 会計年度2号職員の給与見直しと兼業について</p> <p>会計年度2号職員の人員募集については、各課において非常に苦勞していると聞く。人口減と密接につながるこれらの現象・状況において、これまでの対応を聞く。</p> <p>また、働き手の確保と優秀な人材の流失を防ぐための、今後の考えを伺う。</p> <p>(1) 正職員には部分的に許可する兼業の、2号職員への許可の考え方について (2) 2号職員全体の給与体系の見直しについて (3) 採用時における前歴換算の扱いについて</p> <p>3 定住・移住住宅の現状について</p> <p>6月の議会において一般質問をしたが、定住・移住住宅は将来的に民間でやるべきと質問し、その答弁として今後前向きに検討するとあった。その中で現在進めている計画で、旧教員住宅の改修におけるプロポーザルに関しては、あくまでも役場所有財産の改修であって、民間が行うといった将来の定住移住住宅の基本的な考えから遠く離れていくと思われる。</p> <p>年度の途中であっても、清水町の未来を考える上で、事業の再構築をするべきと思うが、考えを伺う。</p>		